

—病院理念— 「愛し愛される病院」

—基本指針—

- 1、私たちは、患者様、ご家族に「おもいやり」をもって接します。
- 1、私たちは、地域に信頼され貢献できる医療を提供いたします。
- 1、私たちは、患者様の在宅復帰を支援いたします。
- 1、私たちは、診療記録を正確に記載いたします。
- 1、私たちは、自己研鑽しよりよい病院を目指します。

【患者様の権利】

- 1、患者様は医療に関する説明を十分受けた上で、治療を受ける権利又は拒否する権利が有ります
- 2、患者様は医師、医療従事者が患者様の知り得た個人情報を守られる権利が有ります
- 3、患者様は病院、医師を自由に選ぶ権利が有ります
- 4、患者様は安全で適切な医療を平等に受ける権利が有ります
- 5、患者様は診療録の開示を求める権利が有ります

新年度の動き

3月11日の東日本大震災により被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。

遠く被災地からは離れておりますが、当院におきましても今回の震災では、様々な状況変化に対応し、全職員が一致団結して患者様の安全確保に努めてまいりました。

平成23年度方針は『総力～365日みんなが主役！患者・家族・スタッフの連携～多職種協働のもと、一人ひとりの専門性に基づいた英知と技能を結集させ、総力を挙げ、患者様の自宅生活を目指す。』震災後の余震が続く中で、新年度が始まり、15名の新入職員を迎えました。新卒者研修の新たな取り組みとして、共に働く多職種を知る目的で多職種研修が行われました。看護師がセラピスト(PT/OT/ST)の業務を見学し、セラピストが患者さまの病棟生活(24時間)を知る、日勤帯と夜勤帯の体験研修を実施し、「ひとりの患者様にいろいろな場面でいろいろな表情がある」こと等、多くの学びを得る事ができています。また、一昨年から続けてきた院内環境の整備は、2階、3階フロア一個室(10室)のバリアフリー改修工事が3月末終了し、今年度は6月から3階フロアの食堂兼リハビリ室を新設(改修)が始まり、院内リハビリ室を

拡張し、病棟生活におけるリハビリ訓練環境の充実を図り、患者様の自宅退院に向けて取り組んでおります。さらに、退院された患者様の支援として、訪問リハビリを拡大していく予定です。今後とも患者様、ご家族、職員の声を活かした、療養環境の整備を行っていききたいと思います。



看護部長 水上新美津子

介護トピックス～着替え介助～

高齢者、特に寝ている時間の多い人でも、意外に汗をかいているものです。こまめに着替えを行うことで、清潔な状態を保ちましょう。また着替えの動作は、身体機能の低下を防ぐうえでも重要です。本人の状態に合わせて、自分でやってもらう部分と介助する部分を見分けてください。

今回は、片側に麻痺のある方の更衣(着替え)の基本的な方法を御紹介致します。更衣のポイントは以下の三つの項目が挙げられます。

- ① 順序:基本的な順序は、着る時は麻痺側から、脱ぐ時は健側(良い方)から行う。
- ② 衣類・素材:ゆったりとして伸縮がある服が着替えやすい。
(マヒがあってボタン留めが難しい場合は、マジックテープのシャツを選ぶ。)
- ③ 介助:出来ないところを手伝う。
(本人に残されている機能を生かすことが大切。ボタンを留めたりする作業は、指先のリハビリに効果的。)

+a point

- ・室温は 23～25 度ぐらいが望ましい。
- ・転倒を防ぐため、イスに座った状態で着替えを行う。
- ・ズボンを着脱する際は、手すりを持つたり、壁に寄りかかたりして転倒を予防する。
- ・起き上がるのが難しい人でも、着替えの際は電動ベッドの背を上げるなどして、少しでも身体を起こしてもらう。
- ・パジャマのしわは褥瘡(じょそう)の原因となるので、着替え終わったらよく確認する。

<かぶりシャツの着方(右片麻痺の場合)>

- ① 膝上に上着の背中が上になるように広げる。
- ② 麻痺側を袖に通し肘上まで上げる。
- ③ 良い方の手を袖に通す。
- ④ 麻痺側の袖を肩まで引き上げる。
- ⑤ 後ろ身頃と襟を束ねて良い方の手で握り、頭を通す。
- ⑥ 上着の裾を引き下げ、全体を整える。

<かぶりシャツの脱ぎ方(右片麻痺の場合)>

- ① 良い方の手で後ろ身頃をたくし上げる。
- ② 後ろ身頃を握ったまま、前方に引き頭を抜く。
- ③ 良い方の袖を抜く。
- ④ 良い方の手で麻痺側の袖を引き、服を脱ぐ。



<前開きシャツの着方(右片麻痺の場合)>

- ① 上着の背中が上になるように広げる。
- ② 良い方の手で、麻痺側の袖を通し、肩部分まで引き上げる。
- ③ 後頭より、良い方の手で上着の襟を持ち、後ろ見頃を背中へかける。
- ④ 良い方の袖に腕を通す。
- ⑤ 袖を引っ張り、襟を正してボタンを閉めて上着を整える。

<前開きシャツの脱ぎ方(右片麻痺の場合)>

- ① ボタンをはずし、良い方の袖から腕を抜く。
- ② 良い方の上着を肩からはずす。
- ③ 良い方の脱いだ上着を麻痺側へ回す。
- ④ 良い方の手で麻痺側の袖を引き、上着を脱ぐ。



看護師 瀬長 三奈子 佐久間 左知

梅雨のおすすめメニュー

雨の日が続き、蒸し暑さを増すこの季節…。湿気が多く、カビの発生しやすい時期です。食物の取り扱いにも注意が必要です。

食事で摂った糖質をエネルギーに変える為欠かせないのが、ビタミン B1です。ビタミン B1を多く含んでいる豚肉と、疲労回復パワーがある梅干を使った料理を紹介します。

<茹で豚と野菜の梅ドレッシング> 一人前

材料	豚ももしゃぶしゃぶ用	50g	梅干	20g
	ベビーリーフ・レタス	30g	※砂糖	10g
	スライスオニオン	20g	※酢	24g
	プチトマト		※しょうゆ	6g



- 1・レタスは一口大にちぎる。ベビーリーフと共に水で洗い、ザルに上げて水気をよくきっておく。
 - 2・梅干は種をはずし、包丁でよくたたく。ボウルに入れ、※の調味料と合わせ、よく混ぜる。(ミキサーあれば、ミキサーにかける)
 - 3・鍋に湯を沸かし、しゃぶしゃぶ用豚肉をさっと茹でて水気を切る。豚肉が熱いうちに 2 の梅ドレッシングに漬け込む。
 - 4・皿に 1 の野菜を敷き、3 の豚肉を盛り、周りにプチトマトとスライスオニオンを飾る。ボウルに残った梅ドレッシングを上からかける。
- ☆ 油を入れないドレッシングなので、すっきりさっぱりしています。
- ☆ ベビーリーフは野菜の幼葉(新芽)のことで、これから大きくなる野菜のエネルギーが詰まっています。

管理栄養士 五百木 整子

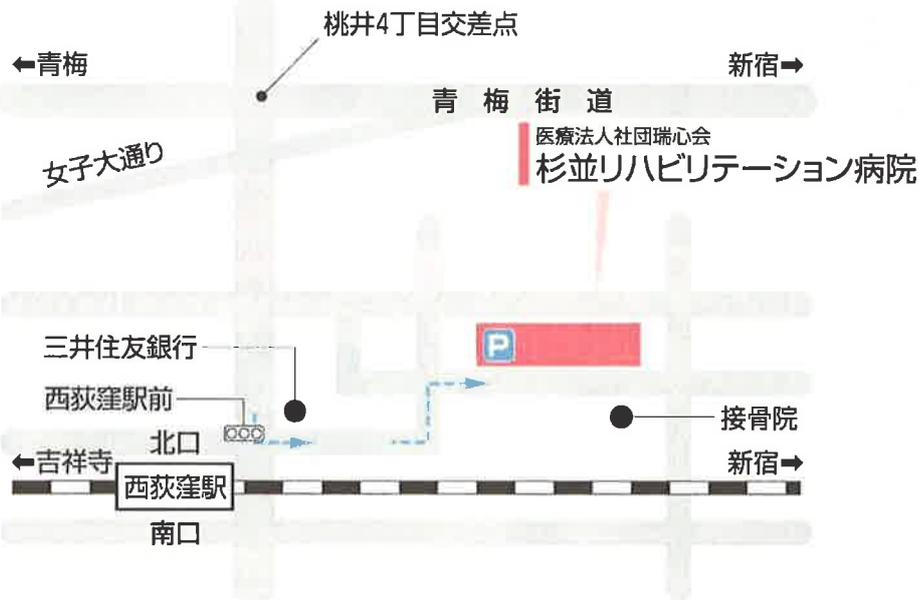
～当院の現況～

	平成 23 年 3 月	平成 23 年 4 月	平成 23 年 5 月
稼働率	93.6%	98.8%	99.4%
入院延べ患者数	2932 人	2994 人	3114 人
在宅復帰率(直近 3 ヶ月:3～5 月)	-----		69.9%
重症患者割合(直近 6 ヶ月:12～5 月)	-----		33.2%
重症患者回復病棟改善割合(直近 3 ヶ月:3～5 月)	-----		67.5%

* 重症患者・・・日常生活機能評価で10点以上の新規入院患者の割合

* 重症患者回復病棟改善・・・重症患者のうち3点以上の者が改善している割合

交通のご案内



- JR中央線・総武線 西荻窪駅下車 北口 徒歩2分
- 青梅街道 桃井4丁目交差点より西荻窪駅方向約1km
 西荻窪駅前信号を左(一方通行)

病院概要

開院	昭和43年10月
理事長	中村 康彦
院長	門脇 親房
病床数	101床(4床室・個室)
診療科目	内科・リハビリテーション科
診療時間	毎週 月・火・水・木・金 9:00～12:30
発行責任者	門脇 親房
発行	杉並リハビリテーション病院 広報委員会

医療法人社団 瑞心会 杉並リハビリテーション病院

〒167-0042 東京都杉並区西荻北2-5-5
 TEL.03-3396-3181(代) FAX.03-3396-3186(代)

<http://suginami-reha-tokyo.jp/>